

http://www

新型インフルエンザ ニュースレター@青森県

Pandemic Flu Newsletter @Aomori Pref

新型インフルエンザ関連情報をお届けする、ニュースレター

現在は、「平時」(新型インフルエンザが発生していない状態)です。

発行日 Newsletter Date 2012年9月3日	フロントページ 『新型インフルエンザ・ニュースレター@青森県』2012年第13号
目次 Inside This Issue 1 『新型インフルエンザ・ニュースレター@青森県』第13号 2 米国 ブタ由来インフルエンザ(変異型H3N2)ウイルスのアウトブレイクなど 3 鳥インフルエンザなどの発生情報	<p>こんにちは、青森県保健衛生課です。</p> <p>多くの皆様にご覧いただき、誠にありがとうございます。</p> <p>今後も引き続き、『新型インフルエンザ・ニュースレター@青森県』を平時での新型インフルエンザ対策のほか、通常の季節性インフルエンザ対策にもご活用ください。</p> <p>米国 ブタ由来インフルエンザ(変異型H3N2)ウイルスのアウトブレイクなど</p>
	<p>続報 変異型H3N2インフルエンザ感染患者290人、初の死亡例</p> <p>米国疾病管理センター(CDC)による8月31日現在の、ブタ由来インフルエンザH3N2(変異型H3N2インフルエンザ)ウイルスの感染患者に関する最新情報は次のとおりです。</p> <p>■発生状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ CDCは8月31日現在、前週の患者報告数に比べ更に12人の患者が新たに報告されたと発表。 ・ また、<u>変異型H3N2インフルエンザに関連した死亡者が初めてオハイオ州から報告されています。</u>この患者は同州マディソン郡の61歳の女性で、発症前にロス郡農業フェアにいたブタに直接接触しています。女性は各種の基礎疾患を有していたものの、<u>変異型H3N2インフルエンザ感染がその死亡原因とされています。</u> ・ <u>変異型H3N2インフルエンザの限定的なヒト-ヒト感染が確認され、今後も散発的に限定的なヒト-ヒト感染が発生すると考えられていますが、継続的な地域感染は確認されていません。</u> ・ CDCはこの状況を監視しつつ、各州と協働してこの発生への対応をしています。また、<u>重症のインフルエンザ合併症に関してハイリスクにある人たち※に対してはこの夏にはフェアにいるブタ及びブタのいる施設に近づかないように</u>呼びかけています。(※ハイリスクにある人たちには、5歳未満の子(特に2歳未満の子)、65歳以上の者、妊婦、慢性疾患(喘息、糖尿病、心臓病、免疫不全、神経症状がある者などが含まれます。)) <p>■変異型H3N2インフルエンザに関する基礎(CDC提供)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 変異型H3N2インフルエンザは、通常はブタで循環しているヒト型ではないインフ

ルエンザがヒトに感染したもの。ブタで循環している、ブタインフルエンザがヒトに感染した場合に「変異型インフルエンザ」と呼ばれます。2011年にトリ・ブタ・ヒトの遺伝子及びインフルエンザ(A/H1N1)2009の「M遺伝子」を持つ特異的なH3N2インフルエンザが確認され、この「M遺伝子」が他の典型的なブタインフルエンザよりもヒトへの感染を容易にさせたと考えられています。

なお、変異型 H3N2 インフルエンザは、季節性 H3N2 インフルエンザとは異なります。

- ・ 変異型 H3N2 インフルエンザの症状は、季節性インフルエンザの症状に似ており、発熱、咳や鼻水などの呼吸器症状、場合によって筋肉痛や嘔吐などの症状も出る場合があります。
- ・ CDC では、変異型 H3N2 インフルエンザについて、次の諸点を懸念しています。
 - ①インフルエンザ感染が重症な症状を引き起こし、入院・死亡となることがあること、
 - ②他のブタインフルエンザよりも人に感染しやすいこと、
 - ③インフルエンザは常に変異するものであり、変異型 H3N2 インフルエンザも容易にヒト-ヒト感染を引き起こす可能性があること、
 - ④研究によると 10 歳未満の子供は変異型 H3N2 インフルエンザに対してほとんど若しくは全く免疫をもっていないこと
- ・ 変異型 H3N2 インフルエンザワクチンについてはいくつかの開発段階を経ているところですが、大量生産の決定はされていません。また、2012/2013 シーズンの季節性インフルエンザワクチンは、変異型 H3N2 インフルエンザに対して効果がありません。
- ・ 変異型 H3N2 インフルエンザの治療には、抗インフルエンザ薬(タミフル、リレンザ)が有効とされています。
- ・ 変異型 H3N2 インフルエンザの感染は、ほとんどの場合、ブタに曝露した子供において発生しており、感染した子供の多くは農業フェアに参加しています。

米国の変異型 H3N2 インフルエンザウイルスの感染患者報告数 (CDC)

(2011年8月～2012年8月31日現在)

患者発生の報告があった州	2011年 報告患者数	2012年 報告患者数
ハワイ		1
イリノイ		4
インディアナ	2	138
アイオワ	3	
メイン	2	
メリーランド		12
ミシガン		5
ミネソタ		2
オハイオ		102
ペンシルバニア	3	7
ユタ		1※
ウェストバージニア	2	3
ウイスクンシン		15
合計	12	290

※ ユタ州の患者は2012年4月に報告されたもので、現在発生中のアウトブレイクとは異なる

米国の変異型 H3N2 インフルエンザ感染による入院患者数及び死亡者数 (CDC)

(2012年7月～2012年8月31日現在)

入院	15
死亡	1

○原文【CDC 変異型 H3N2 インフルエンザに関する情報 8 月 31 日】

<http://www.cdc.gov/flu/swineflu/h3n2v-outbreak.htm>

○その他の情報【オハイオ州保健局 プレスリリース 8 月 31 日】

<http://www.odh.ohio.gov/features/odhfeatures/H3N2v%20influenza/H3N2v%20Influenza.aspx>

速報 他のブタ由来インフルエンザ(変異型 H1N2 インフルエンザ)のヒトへの感染

米国ミネソタ州保健局は、8 月 31 日、3 人のブタ由来インフルエンザ H1N2(変異型 H1N1 インフルエンザ)ウイルスの感染患者が発生したと発表。これらの患者に関する情報は次のとおりです。

- ・ 3 人の患者のうち 1 人は CDC による検査で変異型 H1N2 インフルエンザへの感染が確認され、他の 2 人についての検査は実施中です。
- ・ この確定患者は 10 代の女性で、双子都市※で開催されたミネソタ州農業フェアでブタを展示した後の 8 月 26 日に発症しています。(※ミネアポリス市・セントポール市のこと)
- ・ その他の 2 人の患者うち、1 人は小学生で 8 月 24 日にブタ小屋で一日を過ごした後の 27 日に発症しており、別の 1 人は 70 歳代後半の女性で 8 月 24 日にブタ小屋やブタの展示会で時間を過ごした後の 26 日に発症しています。小学生とこの女性は基礎疾患を有しており、女性は一時入院していました。(両者とも抗インフルエンザ薬を処方されています。)
- ・ 3 人の患者は現在回復又は回復中となっています。
- ・ ミネソタ州当局は、現在の公衆衛生上の勧告を変更していません。

○原文

【ミネソタ州保健局 州農業フェアのブタへの曝露に関連した 3 人のインフルエンザ患者 8 月 31 日】

<http://www.health.state.mn.us/news/pressrel/2012/h1n2083112.html>

ニュース

鳥インフルエンザなどの発生情報

鳥インフルエンザ A (H5N1) のヒトへの感染症例

WHO が確認した鳥インフルエンザ A (H5N1) 感染症例 (2003 年～2012 年 8 月 10 日)

確定症例	608 人
うち死亡例	359 人
致死率	59.0%

WHO は、「鳥インフルエンザ A/H5N1 のヒトへの感染等に関する要約と評価 (8 月 10 日現在)」を発表。その概要は次のとおりです。

■鳥インフルエンザ (A/H5N1) のヒトへの感染

○2003 年から 2012 年 8 月 10 日までに、15 カ国から 608 人の確定患者が正式に報告され、そのうち 359 人が死亡しています。2012 年では 30 人の確定患者が報告されています。

- ・ 前回 (6 月 25 日) 以降から 2 人の確定患者 (下表参照) がインドネシアから報告されましたが、この確定患者からの更なる患者の発生は報告されていません。

国名	地域	年齢	性別	発症日	入院日	死亡日	感染源
インドネシア	西ジャワ	8	女	6 月 18 日	6 月 25 日	7 月 3 日	生きた動物を扱う市場
インドネシア	ジョグジャカルタ	37	男	7 月 24 日	7 月 27 日	7 月 30 日	調査中

最近の確定患者における疫学曲線は前年と同様のパターン (確定患者の多くは冬季に発生し、夏季に向けて減少) を示しています。この疫学曲線

は鳥における発生の季節的曲線に従っているものです。

○全体的な公衆衛生上のリスク

家禽において鳥インフルエンザ (A/H5N1) が定着したとされる国から報告された2人の患者の散発的な発生は予想された範囲内となっています。提供されているデータからは、現時点で継続的なヒト-ヒト感染の証拠はなく、このウイルスへの公衆衛生上のリスクについては変更ありません。

■変異型インフルエンザ (A/H3N2) のヒトへの感染

○米国では、変異型 H3N2 インフルエンザの感染患者数の増加が報告されています。2012年8月10日現在、確定患者は154人で、主にオハイオ州及びインディアナ州でのフォローアップ調査の結果によるものとなっています。また、ハワイ州及びイリノイ州からそれぞれ1人の患者の報告があります。患者のほとんどは、農業祭でのブタに直接又は間接的に曝露した子供であり、これまでにヒト-ヒト感染は報告されていません。これらの患者の症状は、季節性インフルエンザに似ており、全員が回復しています。

○全体的な公衆衛生上のリスク

変異型 H3N2 インフルエンザは米国のブタで循環していることから、更なる患者及び小さなクラスター（感染集団）の発生が予測されています。

この時点では、WHO パンデミックリスクの現在の評価に変更はありません。

【WHO 月報 高病原性鳥インフルエンザのリスク評価の要約 8月10日】

http://www.who.int/influenza/human_animal_interface/HAI_Risk_Assessment/en/index.html

発行：青森県健康福祉部保健衛生課

030-8570 青森県青森市長島 1-1-1

Phone:

017-734-9215

Fax:

017-734-8047

E-mail:

hoken@pref.aomori.lg.jp

青森県庁「インフルエンザ対策」

http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/pandemic_flu_action.html

青森県庁「新型インフルエンザ・ニュースレター@青森県」

http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/shingata_flu_taisaku.html#newsletter